

●神様の御業を経験したイスラエルの民

※出エジプト記 16:13-15

「それから、夕方になるとうずらが飛んで来て、宿営をおおい、朝になると、宿営の回りに露が一面に降りた。その一面の露が上がると、見よ、荒野の面には、地に降りた白い霜のような細かいもの、うろこのような細かいものがあった。イスラエル人はこれを見て、「これは何だろう」と互いに言った。彼らはそれが何か知らなかったからである。モーセは彼らに言った。「これは主があなたがたに食物として与えてくださったパンです。」

※出エジプト記 16:12

「…あなたがたは夕暮れには肉を食べ、朝にはパンで満ち足りるであろう。あなたがたはわたしがあなたがたの神、主であることを知るようになる。』」

(「わたしがあなたがたの神、主であることを知る」cf. 出エジプト記 6:6-7; 10:2; 16:12; [12:27; 14:30-31])

○頑なな群衆といのちのパン：**1. _____で捜し求める群衆(22-26)**

▶「その翌日」

「彼らが動かされたのは、心が満たされていたからではなく、腹が満たされていたからです。」(レオン・モリス)

※マタイ 13:20-22

「また岩地に蒔かれるとは、みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れる人のことです。しかし、自分のうちに根がないため、しばらくの間そうするだけで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまづいてしまいます。また、いばらの中に蒔かれるとは、みことばを聞くが、この世の心づかいと富の惑わしとがみことばをふさぐため、実を結ばない人のことです。」

「私たちの世代、また全ての世代にとって重要な問いはこれです。もし一切の病気もなく、地上で会った友人の全て、好きな食べ物の全て、余暇に楽しんだものの全て、見たことのある自然の美しさの全て、味わったことのある肉体の快樂の全てがあり、一切の人間同士の争いや自然災害もない、天国を手に入れたとしても、そこにキリストがいなければ、あなたは天国に満足することができるでしょうか?」(ジョン・パイパー)

2. _____に拠り頼む群衆(27-29)

「一言も書かなければ良かった。それが私にもたらしたのは、不幸だけ。私をよく知る人は皆、最終的には私を憎むようになってしまった。私の人生は全てが失敗だった。」(小説家サマセット・モーム)

「すべての人間の心には、神の形を空白があり、それはどんな被造物によっても満たされることはありません。イエス・キリストを通して知らされる、創造主なる神によってのみ満たされるのです。」(ブレイズ・パスカル)

※エペソ 2:8-9

「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。」

3. _____信じない群衆(30-36)

●群衆の過ちを正されるイエス様(32-33)

a) 天からパンを与えたのは_____ではない

※出エジプト記 16:4

「見よ。わたしはあなたがたのために、パンが天から降るようにする。…」

b) かつて天から与えられたパンは_____ではない

c) 天から与えられるまことのパンは_____ではない